7.13 水害 20年プロジェクト
7.13 FLOOD DISASTER 20th PROJECT

7.13水害から20年 シンポジウム

参加無料

2024 **8.25** SUN 13:00~16:20

会場 見附市中央公民館「大ホール」（見附市本町2丁目5番9号）

プログラム（敬称略）

●アトラクション(13:00)
越後見附太鼓

●開会挨拶(13:20)
見附市長　稲田 亮

●講演(13:30)
講演①「最近見られる四季折々の気象状況と台風や集中豪雨時にやるべきこと」
樋ノ浦 重嗣(BSN新潟放送 技術部長/気象予報士)
講演②「災害時報道とその裏側～あの時何が起こっているのか～」
酒田 暁子(BSN新潟放送 報道部長/防災士)

●学習・活動発表(14:30)
「今町中学校の防災学習の取り組みについて」
見附市

●パネルディスカッション(15:00)
テーマ　：「地域防災と住民避難」
コーディネーター　：　大塚　悟（長岡技術科学大学　教授）
パネリスト　：　稲田　亮（見附市長）
樋ノ浦　重嗣（BSN新潟放送　技術部長）
酒田　暁子（BSN新潟放送　報道部長）
岡村　勝元（平成16年当時消防本部消防長）
災害対策本部と見附市消防本部において、消防長として避難・救助対応の陣頭指揮を担った。現在は、赤十字奉仕団新潟県支部委員会委員長、新潟県赤十字安全奉仕団委員長として地域のボランティア活動に従事。
山田　淳一（平成16年当時青年会議所理事長）
全国青年会議所のネットワークを生かし、青年会議所理事長としてボランティアの指揮監督を担った。現在は、市内の設備会社の代表取締役社長や見附管工事業協同組合理事長などを務める他、NPO法人キズナの森の代表理事として地域の資源を活かし防災意識を高めキズナを深める仕組みづくりと、人が集う交流の場を創造し、住民が互いに支えあう協働のまちづくりなどに従事する。
犬塚　守明（平成16年当時中央公民館長）
中央公民館長として避難所開設公民館の指揮監督を行い、中央公民館の避難所運営管理を担った。現在はNPO法人川に学ぶ体験活動協議会（RAC）として、刈谷田川かわまちづくり実行委員会の水害・水防教室・Ｅボート体験など防災教育活動に従事する。
北村　秀子（現まちなか東ふるさとセンター長）
7.13水害において被災した経験を踏まえ、中央公民館の避難所設営・運営業務などに従事する。

シンポジウムの内容

甚大な被害をもたらした平成16年7月新潟・福島豪雨から20年の節目を迎え、改めてこの豪雨水害を振り返ることで、地域の危機意識の向上・継続を図るとともに、この災害で得た教訓をしっかりと次世代へ継承し続けていくことを目的としたシンポジウムを開催します。

お申込はこちら

二次元コードを読み取り必要事項を記入し送信してください。

主　催　7.13水害20年プロジェクト実行委員会

問合せ　7.13水害20年プロジェクト実行委員会事務局（国土交通省 北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所流域治水課）
TEL：025-266-7319　FAX：025-231-2043　Mail：713suigai20th@gmail.com